

製品名: JMJD2B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12839**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	KDM4B
別名	KDM4B; JHDM3B; JMJD2B; KIAA0876; Lysine-specific demethylase 4B; JmjC domain-containing histone demethylation protein 3B; Jumonji domain-containing protein 2B
遺伝子 ID	23030.0
SwissProt ID	O94953
免疫原	抗血清はヒト KDM4B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 351-400

背景

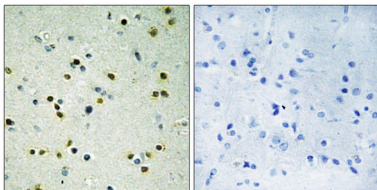
補因子: サブユニットあたり 1つの Fe(2+)イオンを結合する。ドメイン: 2つの Tudor ドメインはメチル化ヒストンを認識し、結合

する。二重 Tudor ドメインは噛み合った構造を有し、この特殊な折り畳み構造はメチル化ヒストンテールへの結合に必須である。機能: ヒストン H3 の Lys-9 を特異的に脱メチル化し、ヒストンコードにおいて重要な役割を果たすヒストン脱メチル化酵素。ヒストン H3 の Lys-4、H3 の Lys-27、H3 の Lys-36、H4 の Lys-20 は脱メチル化しない。トリメチル化 H3 の Lys-9 のみを脱メチル化し、その活性は KDM4A、KDM4C、KDM4D よりも弱い。Lys 残基の脱メチル化により、ホルムアルデヒドとコハク酸が生成される。類似性: JHDM3 ヒストン脱メチル化酵素ファミリーに属する。類似性: JmjC ドメインを 1 つ含む。類似性: JmjN ドメインを 1 つ含む。類似性: PHD 型ジンクフィンガーを 2 つ含む。類似性: Tudor ドメインを 2 つ含む。補因子: サブユニットあたり 1 つの Fe(2+)イオンを結合する。ドメイン: 2 つの Tudor ドメインはメチル化ヒストンを認識し、結合する。二重 Tudor ドメインは噛み合った構造を持ち、この独特な折り畳み構造はメチル化ヒストンテールへの結合に必要である。機能: ヒストン H3 の「Lys-9」を特異的に脱メチル化することで、ヒストンコードにおいて重要な役割を果たすヒストン脱メチル化酵素。ヒストン H3 の Lys-4、H3 の Lys-27、H3 の Lys-36、H4 の Lys-20 を脱メチル化しません。トリメチル化された H3 の Lys-9 のみを脱メチル化しますが、KDM4A、KDM4C、KDM4D よりも活性が弱いです。Lys 残基の脱メチル化により、ホルムアルデヒドとコハク酸が生成されます。類似性: JHDM3 ヒストン脱メチル化酵素ファミリーに属します。類似性: JmjC ドメインを 1 つ含みます。類似性: JmjN ドメインを 1 つ含みます。類似性: PHD 型ジンクフィンガーを 2 つ含みます。類似性: Tudor ドメインを 2 つ含みます。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



JHD3B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。